



(公社)神奈川労務安全衛生協会

小田原支部

小田原市本町2-3-24

TEL 0465-24-1753

発行責任者 支部長 万代好孝

編集 広報部会



酒匂海岸

日本新薬(株) 土井 博氏 撮影

第94回 全国安全週間スローガン

『持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場』

令和 3 年度

全国安全週間を迎えて

小田原労働基準監督署 署長 やま だ よし ひろ
山 田 能 啓



全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で94回目を迎えます。

この間、労働災害防止のために、労使が協調して対策が展開され、労働災害は長期的に減少してきました。

しかしながら、令和2年の当署管内における休業4日以上之死傷災害は378人（うち死亡災害3件）、令和3年に入りましてもこの傾向は止まらず、昨年度の同時期の数字と比較すると17.5%の増加となっており第13次労働災害防止推進計画の目標である、休業4日以上之死傷災害を令和4年に306人以下とする目標の達成が難しい状況となっております。

さて、当署に提出される労災保険の請求書を拝見させていただきますと、休業日数が4日未満の請求書の中において、その原因となった災害の発生状況を見ると、一歩間違えば死亡災害等の重大な災害となりかねないものも散見されます。

皆様方におかれましては、安全衛生管理体制の確立と組織的な安全衛生活動、職場の全員参加による

安全衛生活動の推進、安全衛生教育の充実、職場で働く方々の安全意識の高揚を図るよう、どうかよろしくお願いいたします。

令和3年度の全国安全週間においては、

「持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場」をスローガンとしています。

全国安全週間を契機に、職場で働く全世代の方々が労働災害防止の重要性を再認識し、実際に発生した過去の災害事例を今一度振り返る等の手法を通じて、安全衛生活動をより一層活性化させるようお願い申し上げます。

昨年度に続き本年度に入りましても変異株の出現などにより、新型コロナウイルスの感染拡大は予断を許さない状況です。

ワクチン接種により明るい希望も見えてまいりましたが、引き続き感染拡大防止の観点から、安全衛生活動を推進していくにあたって、「密閉空間」「密集場所」「密接場面」の3つの条件が同時に重なる場所を避け、職場内外での感染防止行動を徹底しつつ取り組んでいただくようお願い申し上げます。

第 94 回全国安全週間

小田原地区推進大会に参加して

第94回全国安全週間小田原地区推進大会が、6月4日に開催されました。

昨年はコロナ禍の関係により開催できませんでしたでしたが、今年は会場参加人員の限定やライブ配信など、新しい試みと感染対策を取った開催となりました。

小田原産業労働団体連合会 万代会長より、挨拶のお言葉を頂いた後の小田原労働基準監督署 山田署長からの挨拶では、コロナの関係で開催しづらい中、皆さんの顔を見て開催できたことに感謝いたしますとお言葉を頂きました。

次に7名の方が小田原地区安全功労者表彰を受賞され、小田原市長 守屋様からの祝電が披露されました。その後、小田原労働基準監督署 松山安全衛生課長より、全国安全週間について、労働災害発生状況、労働災害防止対策についての詳しい説明がありました。



大会宣言後の特別講演では、中央労働災害防止協会関東安全衛生サービスセンター安全管理士・衛生管理士の小原立太様をお招きして、「労働災害の現状と課題」と題し、労働基準監督官時代に経験した内容と演習問題を入れて判り易く話をして頂きました。

業種別労働災害発生状況では、三次産業が48%と多く、事故の型別には転倒・墜落・腰痛災害が全体の50%以上であり、挟まれ・巻き込まれなどは重篤災害となる可能性が高く、また近年は、働く高齢者増加等の就業構造の変化により高齢者、特に60歳以上の災害が増加しているそうです。安全な作業を確保するには、高齢者の健康や体力に応じた対応を実施する事が必要であると思いました。

今回の大会に参加させて頂き、指差し呼称を徹底するなど、今以上に安全意識を高めていかないと、目標レベルの実現が難しいと実感しました。

（南開工業株式会社 はぎ ま も と はる 陌間元晴）



小田原労働基準監督署からのお知らせ

STOP！ 熱中症 クールワークキャンペーン

職場における熱中症により、毎年約20人が亡くなり、約1,000人が4日以上仕事を休んでいます。

このように、熱中症の発生が後を絶たないことから、厚生労働省では、労働災害防止団体などと連携して、「STOP！ 熱中症 クールワークキャンペーン」(キャンペーン期間:5月1日～9月30日、うち重点取組期間:7月1日～7月31日)を展開しています。各事業場の皆様におかれましても、職場での熱中症予防のため、以下に示す期間ごとの実施事項について、重点的な取組をお願いします。

◎キャンペーン期間(5月1日～9月30日)

OSTEP1

- ☐ WBGT値(暑さ指数)の把握

OSTEP2(準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。)

- ☐ WBGT値を下げるための設備の設置
- ☐ 休憩場所の整備
- ☐ 通気性の良い服装等
- ☐ 作業時間の短縮
- ☐ 熱への順化
- ☐ 水分・塩分の摂取
- ☐ プレクーリング
- ☐ 健康診断結果に基づく措置
- ☐ 日常の健康管理等
- ☐ 労働者の健康状態の確認

OSTEP3(熱中症予防管理者等は、WBGT値を確認し、巡視等により、次の事項を確認しましょう。)

- ☐ WBGT値の低減対策は実施されているか
- ☐ 各労働者が暑さに慣れているか
- ☐ 各労働者は水分や塩分をきちんと取っているか
- ☐ 各労働者の体調は問題ないか
- ☐ 作業の中止や中断をさせなくてよいのか

◎重点取組期間(7月1日～7月31日)

- ☐ 実施した対策の効果を再確認し、必要に応じ追加対策を行いましょう
- ☐ 特に梅雨明け直後は、WBGT値に応じて作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう
- ☐ 水分、塩分を積極的に取りましょう
- ☐ 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましょう
- ☐ 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょう
- ☐ 少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく、病院に搬送しましょう

なお、万一、熱中症が発症した場合は、静脈が皮膚の表面近くを流れている、脇の下、首及び足の付け根を冷やすこと、熱中症の疑いのある被災者を決して一人にしないこと、並びに速やかに医療機関に搬送することに留意してください。

※「職場における熱中症の予防について」(平21・6・19 基発第0619001号)もご確認ください。(安全衛生情報センター(中央労働災害防止協会)のホームページ(<https://www.jaish.gr.jp/>)で確認できます。)

労働災害発生状況

令和 2 年 業種別労働災害発生状況

小田原 労働基準監督署

(令和 3 年 3 月末日現在)

令和 2 年における労働災害発生状況が確定しました。この確定とは、令和 2 年 1 月 1 日から令和 2 年 12 月 31 日までに発生した休業 4 日以上労働災害に関して、提出された労働者死傷病報告(様式第 23 号)の受理件数について、統計を作成するに当たっての締切日を設け、統計数値の確定を行ったものです。

小田原労働基準監督署管内における令和 2 年の労働災害による死傷者数は 378 人と前年(388 人)に対して 10 人(2. 6%)の減少となりましたが、残念なことに死亡者数は 1 人から 3 人に増加しました。

また、令和 3 年においても、5 月末日現在、労働災害による死傷者数は 121 人と前年同期(103 人)に対して 18 人(17. 5%)の増加となり、死亡者数もすでに昨年を上回る 4 人となっています。

各事業場におかれましては、より一層の労働災害防止への取り組みをお願いいたします。

業 種	当 年 (令和 2 年)	前 年 (令和元年)	増減数	増減率
01 食料品製造	20	22	-2	-9.1%
02 繊維工業				
03 衣服その他の繊維		1	-1	-100.0%
04 木材・木製品	1	1		
05 家具・装備品	1	1		
06 パルプ等	1	4	-3	-75.0%
07 印刷・製本		1	-1	-100.0%
08 化学工業	10	7	3	42.9%
09 窯業土石	1	2	-1	-50.0%
10 鉄鋼業				
11 非鉄金属	1	2	-1	-50.0%
12 金属製品	6	8	-2	-25.0%
13 一般機械器具	2 (1)		2	
14 電気機械器具				
15 輸送機械製造	3	3		
16 電気・ガス				
17 その他の製造	1	4	-3	-75.0%
01 製造業小計	47 (1)	56	-9 (1)	-16.1%
02 鉱業小計	3		3	
01 土木工事	16 (2)	19 (1)	-3 (1)	-15.8%
01 鉄骨・鉄筋家屋	10	10		
02 木造家屋建築	4	10	-6	-60.0%
03 建築設備工事				
09 その他の建築工事	11	4	7	175.0%
02 建築工事	25	24	1	4.2%
03 その他の建設	6	9	-3	-33.3%
03 建設業小計	47 (2)	52 (1)	-5 (1)	-9.6%
01 鉄道等	3	1	2	200.0%
02 道路旅客	10	10		
03 道路貨物運送	26	26		
04 その他の運輸交通				
04 運輸交通業小計	39	37	2	5.4%
01 陸上貨物	36	32	4	12.5%
02 港湾運送業				
05 貨物取扱小計	36	32	4	12.5%
01 農業	3	6	-3	-50.0%
02 林業	9	6	3	50.0%
06 農林業小計	12	12		
01 畜産業				
02 水産業		3	-3	-100.0%
07 畜産・水産業小計		3	-3	-100.0%
01 卸売業	2	6	-4	-66.7%
02 小売業	41	30	11	36.7%
03 理美容業	2	1	1	100.0%
04 その他の商業	3	6	-3	-50.0%
08 商業	48	43	5	11.6%
01 金融業	2		2	
02 広告・あっせん	1	1		
09 金融広告業	3		3	
10 映画・演劇業				
11 通信業	7	8	-1	-12.5%
12 教育研究	4	5	-1	-20.0%
01 医療保健業	13	10	3	30.0%
02 社会福祉施設	35	23	12	52.2%
03 その他の保健衛生				
13 保健衛生業	48	33	15	45.5%
01 旅館業	19	39	-20	-51.3%
02 飲食店	16	21	-5	-23.8%
03 その他の接客	9	11	-2	-18.2%
14 接客娯楽	44	71	-27	-38.0%
15 清掃・と畜	29	25	4	16.0%
16 官公署		1	-1	-100.0%
01 派遣業				
02 その他の事業	11	10	1	10.0%
17 その他の事業	11	10	1	10.0%
合 計	378 (3)	388 (1)	-10 (2)	-2.6%

※ 各欄左側の数字は労働者死傷病報告(休業 4 日以上)の受理件数、右側()内は死亡災害件数(内数)

新たに着任した職員からの挨拶

小田原労基署労働基準監督官 夏井 葉子

4 月 1 日付の人事異動で、小田原労働基準監督署の安全衛生課に着任しました労働基準監督官の夏井葉子と申します。大阪労働局を経て、神奈川労働局に異動となり、労働保険徴収課を経て、小田原労働基準監督署に着任いたしました。管轄である小田原、足柄上郡、足柄下郡、南足柄市での勤務は初めてですが、数か月間勤務しただけでも、素晴らしい自然環境に恵まれた地域ならではの製造業や、観光業、水産業や、伝統産業等、未来に残していただきたい事業活動が多くあると感じました。すべての人が安全に働くために、それぞれの職場の実情に合わせた指導や助言を行ってまいりたいと考えております。精一杯頑張っておりますので、どうぞ安全衛生行政にご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和3年度

小田原地区安全功労者表彰

大澤 寛之
(株)明治ゴム化成漁野 昭夫
(株)三陽

■表彰者の選考について

この表彰は、毎年、全国安全週間小田原地区推進大会において、小田原産業労働団体連合会の表彰規定に基づき、3年以上無災害の事業場の中より、同一事業場に5年以上勤務し、かつ安全に対し功績のあった方に贈られるものです。

小田原支部



企画紹介

コロナ禍対応としてオンライン企画が促進される中、小田原支部では令和3年度より本格的にオンライン企画に取り組んでいます。

「全国安全週間 小田原地区推進大会」Live配信に挑戦



昨年度、ほぼ全ての推進大会がコロナのため中止となりました。今年度はコロナ対応を考慮した推進大会を企画しています。第一弾として6月4日（金）安全週間大会を行いました。会場参加者の人数を絞り、Live配信によるリモート聴講も可能なハイブリッド開催を試みました。全てが初挑戦。生放送の緊張感の中、大きなトラブルなく終えることができました。リアル70対ライブ配信30の参加比でしたが、アンケートでは利便性からリモート聴講が増加すると感じました。次回、労働衛生週間大会でもハイブリッド開催を予定しています。

「有機溶剤従事者オンライン特別教育」

半日のオンライン講習開催

受講者も、講師も、配信ホストも、長時間のオンライン講習は緊張感を保つのが課題と認識していました。これまでのパワーポイントを一新し、集中が切れない工夫を加えました。その一つは1時間ごとの休憩と休憩後の振り返り考課確認です。双方向のやりとりも非常に有効でした。オンライン講習は教える側のレベルアップにもつながるものと実感しました。



新規加入会員事業場紹介

☆社 名 株式会社 ExOne

☆所 在 地 神奈川県小田原市羽根尾161-5

☆代表者名 代表取締役 横山 謙次

☆設 立 2005年7月7日

☆従業員数 30人（6月30日現在）

☆事業内容 鋳造用砂型造形装置、及び金属造形装置3Dプリンターと部材の販売、販売装置アフターサービスメンテナンス、造形請負加工業務



【事務局だより】

事務局長 鎌田 光郎

令和 3 年度も第一四半期が終わりました。新入者教育、有機溶剤従事者教育など修了証を発行するオンライン講習もスタートし、6 月の全国安全週間大会も Live 配信を行いました。7 月度は無料のオンラインセミナーも開催します。是非、これら新企画をお試しいただきますようお願いいたします。

< 7 月～9 月 講習会案内 >

- * K Y T 基礎実践研修会
 - ・ 7 月 2 日(金) 青色会館
- * リスクアセスメント研修会(リアル開催)
 - ・ 7 月 13 日(火) 青色会館
- * 健康保持増進講習会(会員限定無料オンライン企画)
 - ・ 7 月 19 日(月) Zoom オンライン
- * 労務管理・法令講習会(会員限定無料オンライン企画)
 - ・ 7 月 26 日(月) Zoom オンライン

- * 粉じん作業特別教育
 - ・ 7 月 30 日(金) 青色会館
- * 安全衛生推進者養成講習会
 - ・ 8 月 2 日(月)、3 日(火) 青色会館
- * 普通救命講習 I
 - ・ 8 月 18 日(水) 青色会館
- * フルハーネス型墜落制止用器具特別教育
 - ・ 8 月 20 日(金) 青色会館
- * 全国労働衛生週間大会小田原地区推進大会(オンライン企画)
 - ・ 9 月 2 日(木) 青色会館
- * 交通 K Y T 研修会
 - ・ 9 月 10 日(金) 青色会館
- * 研削といしの取り替え等の業務に係る特別教育
 - ・ 9 月 14 日(火) 青色会館
- * 職長の能力向上教育
 - ・ 9 月 22 日(水) 青色会館
- * 届手続き講習会(オンライン化検討中)
 - ・ 9 月 28 日(火) 青色会館

散 歩 道

J R 相模線(茅ヶ崎～橋本)が今年の 9 月で開業 100 周年、電化 30 周年を迎えるそうです。神奈川県下で最後まで非電化で支線があった路線だったので、小学生の頃、物珍しさに乗りに行った記憶があります。

当時、途中の駅止まりが多く、運転本数が多くなかったです。さらに、寒川駅から分岐する支線は、1 駅で終点の西寒川駅となりますが、1 日の運行本数は 4 本ほどでした。

支線は廃止されましたが、今では電化され、本数が増え、海老名駅の新設、Suica の導入等、つい最

近利用しましたが、昔と比べれば利用しやすくなったことは喜ばしいことです。

今後、新型車両の導入も決まり、終点の橋本駅周辺ではリニア中央新幹線の駅新設工事が進められています。リニアが開通したら小田原にも恩恵があるかと思いますが、それまでには、コロナ禍が収束していることを切に願っています。



昔の路線図



西寒川駅跡地

(広報部会 谷田部浩史)

従業員数 50 人未満の事業者と労働者の皆さまへ

地域の産業医による健康相談・保健指導は無料健康相談窓口をご利用ください。

労働者が心身ともに健康で働き続けられるように、長時間労働の面接指導、メンタルヘルス不調者の相談や生活習慣病予防など、事業場が行う労働衛生管理を支援するために、「県西地域産業保健センター」では、地域の産業医による面接指導や健康診断の事後措置などの無料健康相談・保健指導を行っています。

1. 無料健康相談窓口ご利用時間(原則、1 週間前までにご連絡下さい。)

午後 1 時 0 0 分～ 予約制

2. 相談日(令和 3 年 8 月から 12 月までの相談日は次のとおりです。)

8 月 4 日(水) 8 月 17 日(火) 8 月 27 日(金) 9 月 7 日(火) 9 月 16 日(木) 9 月 24 日(金) 10 月 7 日(木)
10 月 18 日(月) 11 月 1 日(月) 11 月 16 日(火) 12 月 1 日(水) 12 月 10 日(金) 12 月 22 日(水)

3. 相談窓口会場

〔おだわら総合医療福祉会館内 小田原市久野 115 - 2 県西地域産業保健センター 4F 事務所〕

無料健康相談窓口の他、ご依頼内容により産業医による産業保健指導を小田原市、南足柄市、足柄上郡、足柄下郡の各事業場への個別訪問を行っていますので、ご相談ください。

4. 申し込み

・ TEL 0465-66-6040 (受付時間: 9 時～12 時)

・ H P  <https://www.kanagawas.johas.go.jp/publics/index/545/>

厚生労働省「産業保健活動総合支援事業」 協力: 小田原医師会・足柄上医師会
県西地域産業保健センター